

環境負荷低減の活動とエネルギーの学習をしていきます

パルコープでは、2012年度の事業計画（方針）を「事業者としての省エネ活動にとりくみます」また「震災の教訓を忘れず、“原子力に頼らない自然エネルギーへの転換”に向けた学習や話し合いをすすめ、組合員さんと一緒に考えていきます」としています。

「脱原発・再生可能エネルギー中心への社会へ」総代学習会

講師



和田 武さん

(経済産業省・調達価格等算定委員会委員、日本環境学会会長)



藤永延代さん

(パルコープ有職理事、自然エネルギー市民の会 運営委員)

寝屋川支所の屋根の太陽光パネル

参加された組合員さんからは「原発からの転換が必要」「一節電をすすすめよう」「パルコープでも、太陽光パネルの設置をすすめて」「一人ひとりが自分の問題として考え、学び、広げよう」などの感想が寄せられました。

世界では、再生可能な自然エネルギー（太陽光、風力、水力、地熱など）の利用が進み、日本は山や川が多く、火山国であるため、実は、自然エネルギーの宝庫です。CO₂削減のためにも、輸入に依存している石油やウランから、再生可能エネルギーへの転換が有効です。しかし、普及のためには、ドイツやデンマークのように、行政による電力買取制度を充実させ、自治体や市民が主体となり、「市民共同発電所」を作るなど、自らに還元される仕組みを作るのが大切です。

日本は福島原発事故で明らかになったように、活断層が多く、原発重視の政策は限界がきています。5月23日（講師：和田武さん）、6月2日（同：藤永延代さん）の2回、総代さんを対象に学習会を開催しました。（以下は要旨）

～パルコープ・環境活動のまとめ 2012(抜粋)～

- 1) コープみんなでエコ！2011
「1日エコライフチャレンジシート」に組合員さん・職員4,378名が参加
- 2) 省エネ活動、地球温暖化防止
・店舗では、照明や空調の制限、「電気予報」配信などの工夫により、前年対比で電気使用量95%に削減。また「ライトダウン」「打ち水作戦」などにとりくみました
・「レジ袋削減」では、来店人数の89%がマイバッグ持参
・配送車両すべてにEオイラー（燃焼効率をよくなる器具）の導入
・新南寝屋川支所・個配センターの照明を全てLEDに。他施設も順次LED照明を導入
- 3) 地域や行政と協力し、イベントに参加
・「寝屋川エコフェスタ」「環境フェスタinかたの」「ガレージセール・イン・OSAKA TOWN」「スミノエコロジー」など地域、行政と一体となった環境イベントにとりくみました
- 4) 環境マネジメントシステム（エコアクション21）を活用し、事業者として引き続き、環境負荷を減らすと取り組みをしました

*パルコープの「環境活動のまとめ2012」はホームページでも掲載しています。(パソコン専用) http://www.palcoop.or.jp/au_ji/environment.html

忍ヶ丘店

省エネ設備を導入

6月15日にリニューアルオープンしました

消費電力削減と環境負荷低減のため、リニューアルにあわせて、売場の天井照明をLEDにし、冷凍食品売場は扉付のケースになり、LED照明がつかまりました。



理事会報告

2011年度 第13回
5月11日

(単位：千円)

事業概況	2012年4月度			累 計		
	実績	計画比%	前年比%	実績	計画比%	前年比%
供給高	4,322,834	102.1	106.4	4,322,834	102.1	106.4
供給剰余金	1,092,932	103.7	106.6	1,092,932	103.7	106.6
福祉剰余金	3,621	141.5	92.5	3,621	141.5	92.5
事業総剰余金	1,196,095	103.7	106.1	1,196,095	103.7	106.1
事業経費	1,045,765	99.2	104.7	1,045,765	99.2	104.7
事業剰余金	150,330	151.8	116.9	150,330	151.8	116.9
経常剰余金	157,244	147.5	120.0	157,244	147.5	120.0

おもに討議、確認した内容

- 共同購入の利用人数、世帯利用金額が伸びたことで供給高は計画比102.3%、前年比107.5%と達成し、店舗も来店人数、1回当たり利用高ともに前年を上回り供給高計画比101.2%、前年比101.4%と達成しました。
- 2012年4月地域別総代会のまとめ、6月通常総代会議案について
- 2013年総代選挙のすすめ方、2013年通常総代会日程について
- 被災地支援活動の経過報告と今後のすすめかた
- 2012年生産者・取引先様との交流会・展示会の実行委員会と担当について
- ヒロシマ・ナガサキピースツアー2012について

剰余金処分について

生協では、組合員の利用で生み出した剰余金を、将来の目的や、もしもの時の備えのために積み立てたり、利用や出資金に応じて組合員に還元したりします。これを剰余金処分といいます。

剰余金処分は、生協法にもとづいて、毎年の総代会で決めます。

今年度の共有財産である積立金は、7億1,700万円、組合員への還元は、2億4,632万円とします。

(単位：円)

I. 当期末処分剰余金		1,017,558,019
II. 任意積立金取崩額		
1. 施設統合積立金取崩額	47,000,000	47,000,000
		1,064,558,019
III. 剰余金処分額		
1. 法定準備金	360,000,000	
2. 利用分量割戻金(共同購入)(0.5%)	191,447,300	
3. 出資配当金(0.4%)	54,876,500	
4. 任意積立金		
(1) 店舗開設積立金	150,000,000	
(2) 資産再評価積立金	93,000,000	
(3) 災害支援積立金	68,000,000	
(4) 商品安全推進積立金	46,000,000	963,323,800
IV. 次期繰越剰余金		101,234,219

生活協同組合おおさかパルコープ 2013年 総代選挙公示

定款第45条（総代の選挙）および総代選挙規約第4条（総代の選挙区及び総代定数）にもとづき、生活協同組合おおさかパルコープ2013年総代選挙を以下のとおり行います。

【記】

- (1) 総代定数および選挙区について
①総代定数は500名とします。
②選挙区は、以下の7選挙区とします。

選挙区	定数	選挙区	定数
枚方市	95	大阪A	64
寝屋川市・守口市・門真市	82	大阪B	89
大東市・四條畷市・交野市	52	大阪C	59
		大阪D	59

- (2) 総代届けの期間は、本公示日より、7月31日（火）正午までとします。
- (3) 総代選挙規約第2条（総代選挙管理委員）にもとづき、下記の5名を2013年総代選挙管理委員に任命します。
廣部 久子、井口 やす子、服部 みりの、石園 幸子、原田 貴子
- (4) 総代立候補届けは「所定の用紙」に必要事項を記入して、総代選挙管理委員会に提出してください。

2012年7月2日

生活協同組合おおさかパルコープ
理事長 馬田 喜代隆

*オプザーバー登録を希望する組合員さんは、理事会室へご連絡の上、「所定の用紙」に必要事項を記入して、7月31日（火）正午までご提出ください。

*この件に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

パルコープ理事会室： ☎ 06-6242-0904
FAX 06-6242-0926
(電話受付時間 月・土：午前9時～午後5時
火～金：午前9時～午後6時)

公 告

2011年度出資配当金・利用分量割戻金 (共同購入)のお支払いについて

2012年6月8日の通常総代会で、2011年度決算剰余金の出資配当金、利用分量割戻金(共同購入)が決まりました。お支払い方法は、出資金への振替を下記の要領で行います。

計算基準は

《出資配当金》年率0.4%の金額です。
2011年4月～2012年3月の各月の20日現在の出資金が基準です(毎月20日の出資金口数残高の合計÷12×0.4%)。1口=1000円です。

お支払いは源泉徴収税20%が控除された金額となります。
《利用分量割戻金(共同購入)》共同購入の年間利用額の0.5%です。対象期間は2011年3月21日～2012年3月20日となります。(但し、ギフト、スクロール、くらしと生協、まいらいふ、つまいもの宅配、生活サポートは除きます)
*出資配当金および利用分量割戻金(共同購入)の計算で出た10円未満の端数は切り捨てて計算いたします。

該当組合員は

本事業年度末(2012年3月20日)に在籍する組合員でかつ総代会当日(2012年6月8日)の在籍組合員です。

支払方法は

出資配当金、利用分量割戻金(共同購入)は、全額7月20日出資金に振り替えさせていただきます。出資金に振り替えさせていただきますいただいた出資配当金、利用分量割戻金(共同購入)はそのまま積立てていただきますようご協力願います。尚、返金を希望される場合は、配送担当者または、店舗サービスカウンターにお申し出ください。

*共済割戻しについて

(たすけあい)共済の割戻は、「日本コープ共済生活協同組合連合会」から実施されます。8月上旬に契約者宛にお知らせが郵送されます。

2012年7月2日 生活協同組合おおさかパルコープ